

市民の**声**を市政に

**15人**の議員が古川市政問う

# 一般質問

掲載している内容は6月26日から29日までに行った市政一般質問の要旨です。  
また、市議会ホームページでは各種議会情報、会議録の閲覧のほか、議会中継（生放送・録画放送）を見ることができます。

**A** コンパクトシティを考えていく上で注目しなければならないのは、高齢者の方の社会参加である。まちの中へ誘導していくためにもドアツードアの駅があってもよいと思う。また「Suica」のようなIC

**Q** 鉄道の駅を拠点としたコンパクトシティ構想はどうか。バスと鉄道を連動させ、乗り合いタクシーも導入して、それぞれに小銭で料金を払わなくていいように、**乗り放題パス**を広めてはどうか。

**A** 線路や車両など、どこまでを行政と会社が保有するか、5つの方式があり、どの方式が最適か、そして、今年度から島原鉄道全体の事業を精査検討する必要がある、できるだけ早く対処できるようにしたい。

**Q** 島原鉄道の存続について、北目線の上下分離方式の導入はどの程度話が進んでいるか。

## 問一 公共交通を考える



バラの会  
楠 晋典 議員

カードも便利である。市の事業と島鉄のシルバー定期などのコラボも検討してみたい。

**Q** 市内の廃線区間には橋や高架の区間も多く、また、南安徳町には駅舎に用意された土地もまだそのまま残っている。1号機関車を実現させ水無川からの車窓に普賢岳が見えるのはかなりの観光スポットであり、安中地区の方の移動手段としても、線路を復活させ鉄道を走らせるのが最も効果的であると思うがどうか。

**A** 6年後に新幹線が諫早駅に接続され、観光客の方が島原半島に行ってみたと思うせるには元気な鉄道が存続しており、そのシンボルとなるのが観光列車であると思う。そのため資金をどうするか、ふるさと納税やクラウドファンディングなどを考えてみたい。

### 【その他の質問項目】

◇冷水器  
◇大雨被害や台風などの対策は万全か。